

Press Release

2024年4月18日

大物鋳物部品の切削、研削加工に対応 DMG 森精機 伊賀事業所 第3精密加工工場 稼働開始

DMG 精機株式会社(以下、当社)は、このたび、当社グループ最大の生産拠点である伊賀事業所(三重県伊賀市)に、工作機械のベット・コラムなど、大物鋳物部品の加工を行う第3精密加工工場を稼働開始しました。

伊賀事業所では、これまで2棟の精密加工工場にて内製部品の加工を行っていましたが、5軸・複合加工機の需要増加による大型高精度・高品質部品の生産増加への対応や、内製化や工程集約による品質向上、生産性向上をさらに推進するため、3棟目となる第3精密加工工場を新設し、稼働開始いたしました。

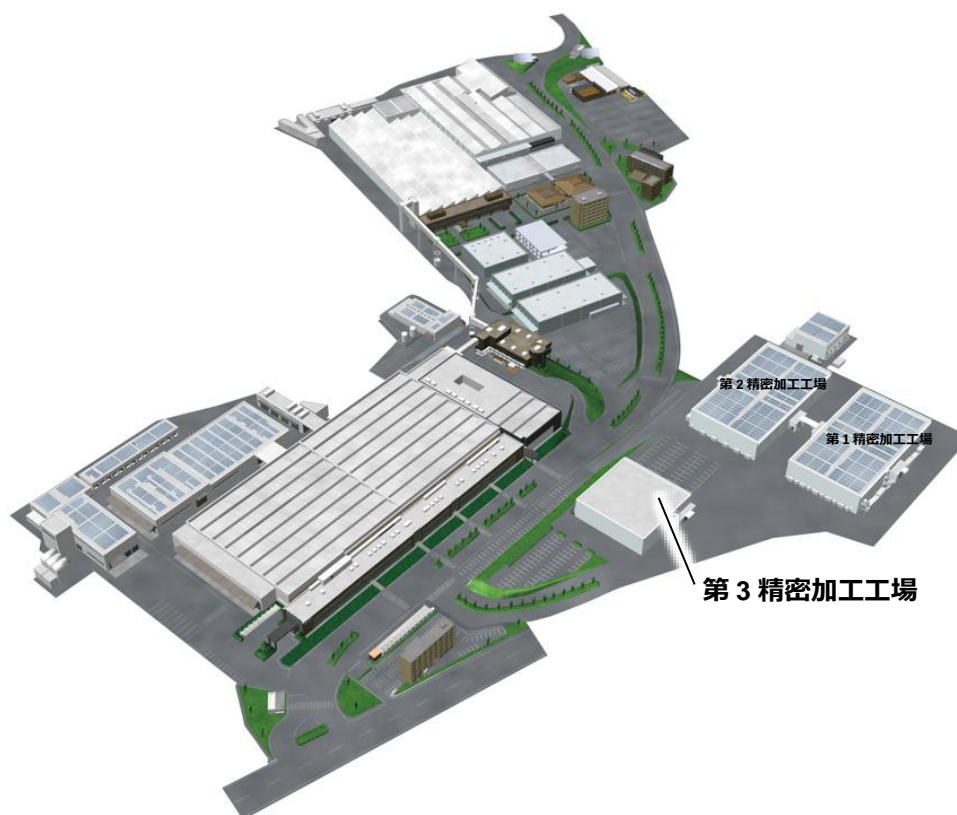
当社は、製品の品質向上、開発から生産までのリードタイムの短縮、需要の好不況の循環に左右されない製品の安定供給などを目的に、かねてより、主軸やボールねじ、タレットやATC、スケールなどキーコンポーネンツの内製化を促進してまいりました。2023年から開始した「中期経営計画2025」においても、グローバルで安定的に製品を供給できる体制の強化を目標としており、精密部品の内製化にグループ内で生産する最新の工作機械や周辺技術、デジタル技術などを導入できることは当社の大きな強みです。

第3精密加工工場では、当社フロンテン工場(ドイツ・バイエルン州)で生産された超大型5軸加工マシニングセンタDMU 1000 SEを3台導入し、当社の工作機械に使用するベット・コラムなど大物鋳物部品の加工を行います。現在2台目の設置が完了し、5月から本格稼働いたします。2025年に導入予定の3台目には研削仕様を追加し、これまで他社製の専用機で行っていた研削工程の工程集約を自社製の機械で実現します。従来使用していた、他社製の大型5面加工機5台と大型研削盤4台の合計9台を、当社製のDMU 1000 SE 3台に置き換えることにより、工程間のワーク搬送や段取り替えの時間や加工時間が短縮されます。また、機械台数の削減に伴う中間在庫や工場スペースの削減によって、GX(グリーン・トランスフォーメーション)につながります。

当社はマシニング・トランスフォーメーション(MX)を推進しており、DXを用いて工程集約、自動化を積極的に促進し、GXを実現する当社拠点は、訪問されるお客様に具体的にMX導入について体感いただくショールームの役割も担っています。今後、高精度かつ高効率な内製化のノウハウをグループ全体にも展開するとともに、世界中のお客様の生産性向上、サステナブルな社会の実現へ邁進してまいります。

【第3精密加工工場 概要】

所在地	: DMG 森精機株式会社 伊賀事業所内 (三重県伊賀市御代 201)
建築面積	: 5,698 m ² (延床面積 5,616 m ²)
建屋構造	: 地上 1 階
操業開始	: 2023 年 8 月 建物完成、2024 年 5 月より本格稼働
総投資額	: 約 25 億円(建物)、約 30 億円(機械)
生産内容	: ベット・コラムなどの大物鋳物部品の切削・研削加工
生産能力	: 年間約 14,000 トン分の鋳物加工(DMU 1000 SE 3 台導入後)



第3 精密加工工場 外観



導入された2台の超大型加工機 DMU 1000 SE

以上